

# 平成29年度事務事業評価シート

取組みコード 4231

区分	イベント	担当課	スポーツ・文化振興課	作成日	平成29年5月1日
事業名	町民みなふれあい体育大会開催経費 (町民みなふれあい体育大会)		開始年度	平成4年度	予算科目 9.5.1.3.3

## 1 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部_豊かな人間性を育む文化のまちづくり 章 第2章_生涯学習と地域文化の創造
節	第3節_スポーツ・レクリエーション活動の推進 基本施策 1_スポーツの推進
取組みの基本方向	(3) 駅伝大会などスポーツイベントの充実、地域でのスポーツ行事の振興
根拠法令等	なし
目的 (誰・何を対象に、何のために)	「町民みなスポーツの町宣言」の趣旨のもと、町民一人ひとりが生涯をとおしてスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくとともに、スポーツを通じて町民相互の絆と交流を深め、スポーツの振興と健康で明るい豊かなまちづくりを目指すものである。町民のために、全町民を対象に実施しているものである。
内容・方法 (何を行っているのか)	綱引き大会やパン食い競走など約10種目(行政区対抗種目、自由参加種目)の競技等を町が決定し、町の広報やチラシ、ポスターで自由参加者の募集を呼びかけるとともに、行政区へは自由参加と行政区対抗種目の参加を募り、町民一同が会した運動会を行っている。各行政区の参加者は行政区が取りまとめ、会場までのバスや車などを手配するなど、当日までの準備を行っている。各種目競技に参加した方へは、参加賞を渡している。また、参加した行政区へ運動会準備金5万円、当日、運動会が実施されれば、8万円の合計13万円を支出している。

## 2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		基準年度	平成34年度			
		『スポーツ・レクリエーション活動の推進』について「満足」と感じる住民の割合		33.6%	42.0%		
	スポーツ施設の利用者数(延べ人数)		383,550	420,000			
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果	より多くの方にスポーツ・レクリエーション活動に参加いただくこと						
(A) の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(平成26年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
参加者の人数	増	町民みなふれあい体育大会に参加された延べ人数	計画値	/	0.0	1,600.0	0.0
			実績値(見込値)	2,000.0	0.0	1,600.0	0.0
			達成度※自動計算	/	100.0	100.0	100.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動	誰でも、参加ができ、参加される方たちが楽しかった、よかったと思うような自由参加種目の取り入れを行う。						
(B) の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度
自由参加種目	増	より気軽に参加できる魅力的な自由参加種目の数を増やすことで参加者数の増加を図る	計画値	/	0.0	5.0	0.0
			実績値(見込値)	/	0.0	4.0	0.0
			達成度※自動計算	/	100.0	80.0	100.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算) (平成26年度)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算見込)	平成29年度(予算)
(A) 事業費(円)	4,098,066	0	4,000,570	0
(B) 概算職員数(人)	0.400	0.000	0.400	0.000
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	3,320,000	0	3,320,000	0
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	7,418,066	0	7,320,570	0
単位当たりコスト ※自動計算	3,709.0	#DIV/0!	4,575.4	#DIV/0!
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源 ※自動計算	7,418,066	0	7,320,570	0

#### 4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
<b>妥当性</b> <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない	○	
	国や県において実施している事業との重複がない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの低下や変質がない		
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である		
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	事業・サービスの対象者の日常生活に必要な事業である 上記のいずれにも当てはまらない		
<b>有効性</b> <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成28年度の目標を達成している	○	B
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
<b>効率性</b> <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減<成果ダウン	C
<b>有用性</b> <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
<b>総合評価</b> ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5 特記事項

平成28年度の大会当日が雨天であったため、参加者人数が平成26年度よりも減少したことから効率性がCとなっている。

#### 6 自己評価(担当課)

評価結果	改善
理由	参加者数が減少傾向にあり、選手の募集など、地域役員等の負担も考慮しつつ、改善を図っていく必要があるため。
今後の方向性	事業への投資効果や住民の意見など総合的な評価を考慮し、実施回数を見直して一部をスポーツレクリエーションフェスティバルに振り替えるなど、事業のあり方を継続的に検討していく。

#### 7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	改善
今後の方向性に係る意見等	住民意見を十分踏まえるとともに、費用対効果などを総合的に勘案し、実施頻度や実施方法の見直しを含めて検討を行っていくべきである。

#### 8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	改善
今後の方向性に係る意見等	参加者が減少傾向であることから、実施頻度や実施方法の見直しを含め、住民と十分な意見交換を行いながら改善すべき。

#### 9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

これまでのアンケートの内容を踏まえ、区長との意見交換等を実施し、費用対効果や住民のニーズなど多角的な検証を行いながら、開催年度や事業の進め方について、改善に向けた方策を検討する。

#### 10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	改善
理由 改善方針	区長との意見交換等を実施し、費用対効果や住民のニーズなど多角的な検証を行いながら、開催年度や事業の進め方等の改善策を検討し、可能なものについて、順次改善する。